

高校・一般の部 優秀賞

丹生 美智代

先日、いつものように仕事から戻り、家事をすませテレビを見ていた。戦後七十五年が経ち、一人の男性が戦争当時のことを、取材に答えていた。七十五年経ち、初めて他人にお話ししたという。あえて今まで、体験したことを話してこなかったのは、「かわいそうに、大変だったね」だけで、聞き流されてしまうのが嫌だったと言っていた。当時、九歳の時のことを語ってくれた。私も子供と同じ年。ダブらせながら聞いていた。男性は最後に、今回お話ししたのはこの先が平和であるために、若者に伝えておかなければいけないと思った。と言っていた。

私は、この言葉を聞いた時、平和とは何かを考える、バトンを託されたように感じた。今の平和から、平和な未来へと続くように、戦争のない世の中はもちろんのこと、困難を乗り越えるためには、犠牲になられた方がたくさんおられることを忘れず、何気ない普段の生活を通して平和であり続ける事を考えていきたい。